



おひさま

山形市立第五小学校
学校だより
令和8年1月26日
校長
No. 10 太田 千春

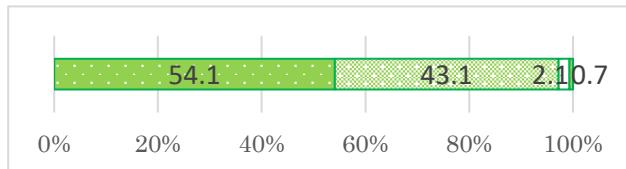
学校評価の結果をお知らせします

本校では、学校教育目標「運動大好き 自分・友達大好き 勉強大好き」のもと、次の3つの資質・能力の育成を今年度の教育の重点とし、学校全体で日々教育活動に当たっております。この度、保護者・全校児童からのアンケートを実施し、目標の達成状況や取組みの適切さ等について評価し、今後の改善策等について検討しました。その結果がまとめましたのでお知らせします。今後とも本校の教育活動に御理解と御協力を賜りますよう、宜しくお願ひいたします。

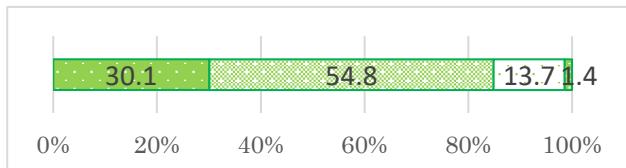
【教育の重点】学校として育成を目指す資質・能力 について

【保護者アンケート】

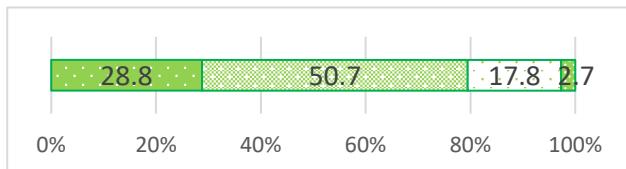
- 1 子供は、学習活動を通して知識や技能を身に付け、それらを学習や生活に生かしている。



- 2 子供は、根拠や理由を明確にして、自分の考えを表現している。

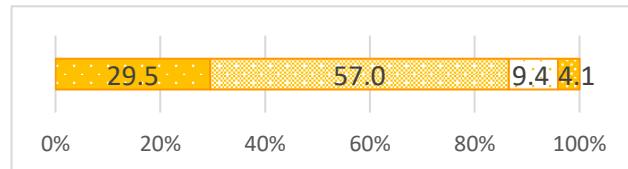


- 3 子供は、失敗を恐れず挑戦し、粘り強く取り組もうとしている。

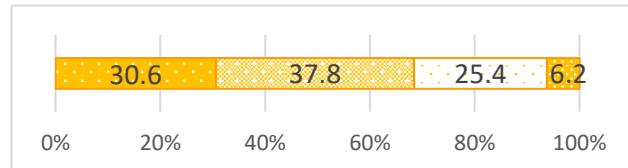


【児童アンケート】

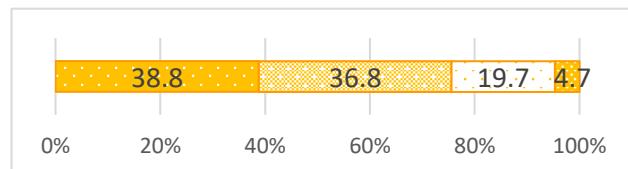
- 1 学習してできるようになったことを、他の学習や生活に生かしていますか。



- 2 理由をはっきりさせて、自分の考えを話したり書いたりしていますか。



- 3 失敗を恐れず挑戦し、最後まであきらめずに取り組んでいますか。

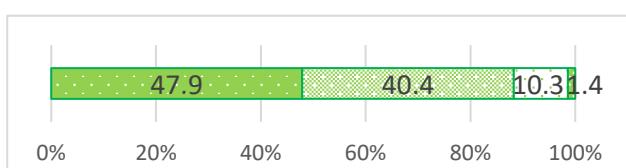


■ そう思う ■ ややそう思う ■ あまりそう思わない ■ そう思わない

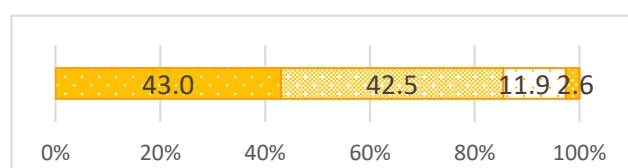
■ そう思う ■ ややそう思う ■ あまりそう思わない ■ そう思わない

【経営の重点】個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実の観点からの授業改善 について

- 6 学校は、確かな学力を育むため、一人一人に応じた指導を行っている。



- 6 学校の授業は、よくわかり、できることが増えていますか。



学校として育成を目指す資質・能力については、質問1「身に付いた知識や技能を学習や生活に生かしている」に対する肯定的な評価の割合が高く、保護者が97.2%、児童が86.5%でした。学校では、引き続き、習得した知識及び技能を活用・発揮する学習活動を意図的・計画的に年間の指導計画に位置付け、実際の社会や生活で生きて働く知識・技能として身に付けることができるようにしてまいります。一方、児童アンケートでは、質問2の「理由をはっきりさせて、自分の考えを話したり書いたりしていますか」に対する肯定的な回答の割合が低く、68.4%でした。各教科の学習において、どのような事柄を根拠としながら論理的思考を展開し、自分の考えを表現できるようになることを目指すのか、各学年の発達段階を踏まえながら育成を目指す子供の姿を具体化し、その評価を踏まえた授業改善に努めてまいります。また、保護者アンケートの質問3「失敗を恐れず挑戦し、粘り強く取り組もうとしている」については、肯定的な評価の割合が最も低い79.5%であり、関連する児童アンケートでも75.6%でした。本校では、学習指導要領の趣旨を踏まえ、粘り強さのみならず、自らの学習を調整しようとする態度を育み、課題をもち自ら学び続ける子供に育てていきたいと考えています。自己決定の場を保障するとともに、目標をもって取り組む過程を大切にし、一人一人が自分らしく可能性にチャレンジしようとする態度を育成してまいります。

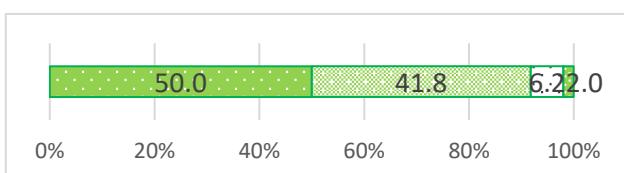
また、保護者アンケートの質問6「学校は、確かな学力を育むため、一人一人に応じた指導を行っている」に対する肯定的な評価は88.3%に、児童アンケートでも、「学校の授業は、よくわかり、できることができますか」に対する肯定的な回答が85.5%に留まっております。今年度は、学校研究の一層の推進による本校児童の学びの充実を図るため、山形市教育委員会委嘱による公開研究会を実施し、一人一人の子供を主語にした授業づくりに取り組んでまいりました。単元をとおして一人一人の子供に深い学びを実現しようとする実践に手ごたえを感じています。次年度もこの取組を継続していきながら新たな学びを創造し、子供たちに確かな学力を育むとともに、子供自身も自らの成長を実感できるようにしていきたいと思います。



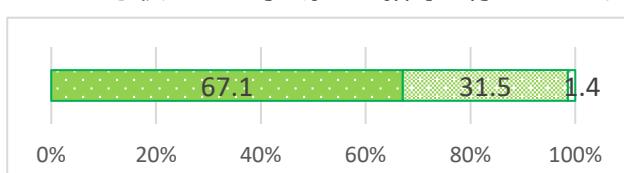
【経営の方針】1 一人一人のよさや可能性が生かされる安全・安心な風土を醸成する について

【保護者アンケート】

4 子供は、自分のよさや可能性を生かし、安心して楽しく学校生活を送っている。

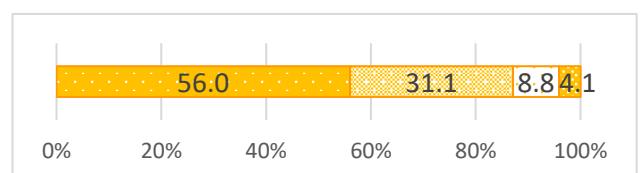


7 学校は、相談事に丁寧に対応し、体罰等による子供の心に寄り添った指導を行っている。

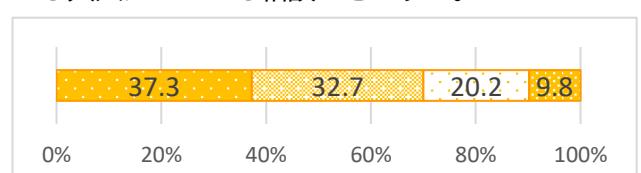


【児童アンケート】

4 自分らしく、楽しく学校生活を送っていますか。



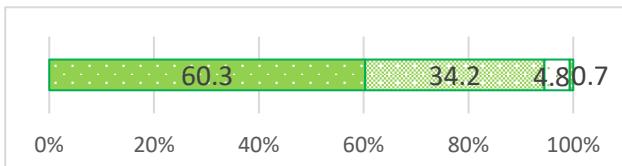
7 困りごとや不安があるときに、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか。



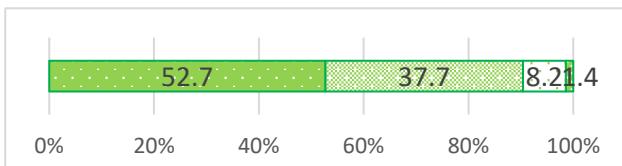
児童アンケートの質問4「自分らしく、楽しく学校生活を送っていますか」に対する肯定的な回答は87.1%でした。本校では、一人一人のよさや可能性が生かされる安全・安心な風土を醸成することを経営方針の1つに掲げ、一人一人の「好き」を育み「得意」を伸ばしながら、それらを原動力として学び全体への動機付けを図っていこうとする取組を進めています。しかしながら、「そう思わない」と回答している児童が4.1%、8名いることも受け止め、引き続き、目指す学校像としている「誰もが安心して学べる魅力ある学校」の実現に向けて尽力してまいります。一方、質問7「困りごとや不安があるときに、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか」に対しては、肯定的な回答が70.0%に留まっており、9.8%、19名の児童は「そう思わない」と回答していました。困りごとや不安については、「友達」や「保護者」に相談していたり、相談することなく自分で解決を試みたりする児童も見受けられます。「SOSの出し方教育」なども実施しながら、必要に応じていつでも相談できる児童と教師の関係性の構築に努めてまいります。

【経営の方針】2 関わりを通して多様性を受け入れ、互いに高め合う関係性を構築する について

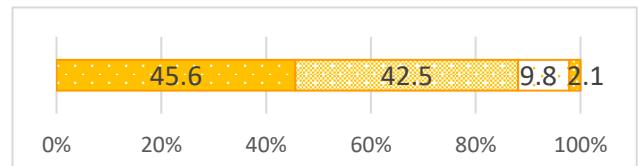
5 子供は、互いのよさや違いを受け入れながら、友達を大切にしようとしている。



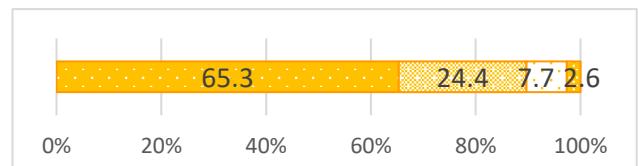
8 学校は、仲間はずれやいじめ等の未然防止に向けた指導を行っている。



5 誰とでもやさしい心でかかわり、友達を大切にしていますか。



8 仲間はずれやいじめをしないようにしていますか。

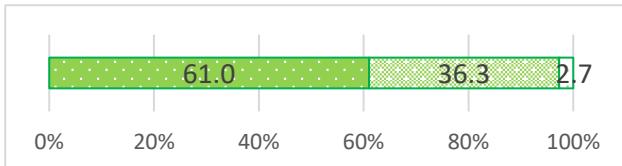


保護者の質問5「子供は、互いのよさや違いを受け入れながら、友達を大切にしようとしている」の94.5%の保護者の皆様から肯定的な評価をいただきました。児童アンケートでも、質問5の「誰とでもやさしい心でかかわり、友達を大切にしていますか」の項目に88.1%の児童が肯定的に回答していました。また、保護者アンケートの質問8「学校は、仲間はずれやいじめ等の未然防止に向けた指導を行っている」についても、90.4%と高い評価をいただき、児童アンケートの質問8の「仲間はずれやいじめをしないようにしていますか」の項目に対する肯定的な回答は89.7%と、最も多く肯定的な回答がありました。一方で、2.6%、5名の児童は「そう思わない」と回答しています。6月のいじめアンケートでは、「いじめ」に関する相談が延べ117件、11月のアンケートでは、延べ76件の相談があり、訴えがあった子供から担任が丁寧に話を聞いて事実確認を行い、行為を行った子供へ指導を行っています。個別の問題行動等への対応にとどまることなく、全ての児童を対象にした課題未然防止教育、さらには一人一人のキャリア形成等も踏まえた発達支持的生徒指導の視点を大切にし、学習指導と生徒指導の一体化に努めてまいります。

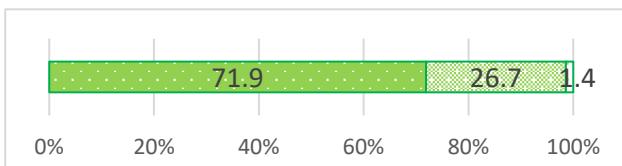


【経営の方針】3 社会との連携・協働による組織的な学校教育を推進する について

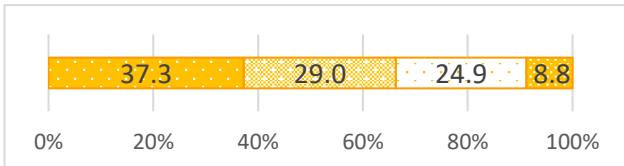
9 学校は、保護者や地域との連携を図り、目標を共有しながら協働して子供の育成に取り組んでいる。



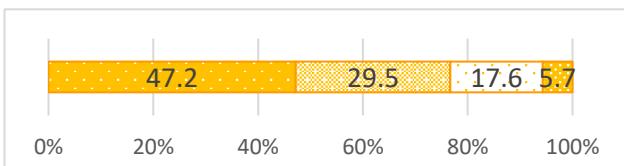
10 学校は、おたよりなどを通して、教育方針や子供の様子を家庭に知らせている。



9 子供会や地域の行事に進んで参加していますか。



10 おうちでよく学校のことを話していますか。



保護者アンケートの質問9「学校は、保護者や地域との連携を図り、目標を共有しながら協働して子供の育成に取り組んでいる」には、97.3%の保護者の皆様から肯定的な評価をいただきました。本校は、学校運営協議会が設置されているコミュニティ・スクールであり、学校教育目標の実現に向けた学校運営の基本方針や教育課程について承認をいただいて教育活動を展開しております。今年度の熟議では、「ウェルビーイングを目指し、実現したい第五学区のためにできること」をテーマに話し合いました。委員の皆様方からは、ワクワクする活動をとおして人とのつながりを感じられる地域にしたい、そのつながりを生かして安全・安心な地域を実現したいなどのご意見をいただいたところです。子ども会育成連合会主催による「ふるさと秋祭り」では、ワクワクするような楽しい経験をさせていただき、子供と地域、保護者のつながりをより一層深め、第五学区の次代へとつながっていくことを実感いたしました。

また、今年度は、総合的な学習の時間の更なる充実を図りました。第5学年の児童は、諏訪神社の例大祭で行われた神輿渡御に子供神輿で参加しました。諏訪神社の起こりや地域とのかかわりを学んだ子供たちが、神輿の意味やつくり方は森谷大仏堂の職人さんから、担ぎ方は水神會の方からそれぞれご指導いただきながら創り上げた活動です。本校は、これまで地域の方々に支えられながら、独自の教育活動を展開してまいりました。本校の強みを生かし、地域と一体となって子供を育成する地域とともにある学校として、その役割を果たしてまいります。

最後に、質問10「学校は、おたよりなどを通して、教育方針や子供の様子を家庭に知らせている」については、昨年度の学校評価の折にお寄せいただいたご意見を基に配布物等の電子化に切り替えました。また、第五小学校ホームページのブログの更新にも一層努めてまいります。

皆様からの学校評価へのご協力に、心から感謝申しあげます。なお、今年度の学校評価の結果は、2月26日(木)に開催予定の第3回学校運営協議会に提示し、委員の皆様からもご意見をいただきながら次年度の学校経営基本方針等に反映させていくこととしております。

